12/23（水・祝）「明るいクリスマスと正月を！全国一斉年越し電話相談会～生活保護・労働・多重債務・住まい何でも相談会～」

１２月２３日（水・祝）１０時～２２時

全国統一フリーダイヤル ０１２０－７５７９３０ （ひころなくそお）

生活の厳しさが増す年末です。
この１年を振り返ります。

２月。中学生の男の子が仲間に暴力を受け殺されるという事件がありました。
５人の子どもを抱えたシングルマザーの母親は、朝から深夜まで働いていました。

５月。川崎の簡易宿泊所で火災が発生し１１人が犠牲となりました。
居住していた７４人のうち、７０人が生活保護を利用し、多くは高齢者でした。

６月。生活に困窮していた７１歳の男性が、東海道新幹線で焼身自殺をし、多くの乗客が巻き込まれました。

７月。生活扶助基準に続き、住宅扶助基準が引き下げられ、最後のセーフティネットとして他の社会保障制度を下支えしている生活保護制度の削減が進みました。

９月。労働者派遣法が改悪され、派遣労働がこれまで以上に拡大する可能性が高まりました。

１１月。埼玉の深谷で一家３人の心中事件がありました。
生き残った三女は、「母が約１０年前から重い認知症で介護に疲れた。生活苦で貯金もない。年金もない。仕事を辞めた父が“死にたい”というので、車で川に突っ込んで無理心中を図った。」と供述しました。

非正規労働者の割合は、すでに昨年１０月時点で４割に達し、若者の間にもブラックバイトが広がるなど、低賃金で不安定な働き方の人が増えています。
「生活が苦しい」と答えた世帯も、６２．４％（国民基礎生活調査）となり、過去最悪を更新しました。

このように、子ども、１人親、高齢者、若者、年齢や性別を超えて、貧困は、日本社会全体に広がり、様々な問題を抱えて生きていくことが困難な人が確実に増えています。

特に、年末年始は、年末が近付くにつれ仕事がなくなって生活に困窮する人や、役所も閉まるため必要な支援を受けられない人が増え、クリスマスや正月で賑わう中、孤独感が強まり、精神的にも追い詰められる人が増える時期です。

２００８年にスタートした全国一斉、年越し電話相談会を今年も実施いたします。

お気軽にご相談ください。

明るいクリスマスと正月を!

全国一斉年越し電話相談会～生活保護・労働・多重債務・住まい何でも相談会～

◆　開催日時：　12月23日（水・祝）午前10時～午後10時

※各地の実情に応じて、生活保護申請同行の実施

◆電話：全国共通フリーダイヤル

0120－757930（ひろこんなくそお）

◆実施主体：つながる総合相談ネットワーク東京、全国一斉年越し電話相談会実行委員会

チラシのダウンロード⇒こちら

明るい正月を！　年越し

なんでも電話相談会

生活保護・労働・多重債務・住まい・などなど

全国の弁護士・司法書士等の専門家が無料でご相談を受けます。



生活に困っているのに、役所が生活保護を利用させてくれない。
自分の今の状況で、生活保護って受けられるの？
生活保護を打ち切ると、役所に言われている。
働いても働いても、生活が楽にならない。
派遣先から突然「もう来なくてイイよ」と言われた。
働いてるのに雇用保険に入れてもらえない。
残業代を出してもらえない。給料を一方的に減らされた！
借金の返済に追われて、にっちもさっちもいかない。
家賃が一日遅れただけで、鍵を替えられた!
大家が勝手に家具や荷物を処分した！

仕事がなくなり、役所も閉まる、年始年末の時期。
でも、あなたは一人ではありません。
生活保護・労働問題・借金問題・住まいの問題の専門家が
一緒に、あなたの生活再建のお手伝いをします。

相談は無料ですので、お気軽にお電話下さい!

12月23日（水・祝）

10：00～22：00

全国共通・通話料無料

0120-757930

（貧困なくそお）

主催　つながる総合相談ネットワーク東京

独立行政法人福祉医療機構　社会福祉振興助成事業